

札幌光星中学校に5部署が取材協力 学校祭の壁新聞「放送の裏側」 速報など、ニュースの仕組みを伝える

2024年7月9日（火）

放送の裏側についての壁新聞を作りたいと、札幌光星中学校の生徒6名が7月9日(火)、HTBを訪れました。生徒らはスタジオを見学したのち森さやかアナウンサーから、目線や表情の細かなところまで気を配った「伝え方」の大切さを学びました。続いて編成部の金子陽副部長はニュースを報道するまでの流れや、速報を早く、正しく伝える対応について解説。映像コンテンツ部では大型中継車や小型のモバイル中継装置、カメラを実際に見てもらい、カメラを担ぐ体験も行いました。各部署がそれぞれどんな作業を行い、最終的に信頼されるニュースが放送されるのか、という一連の説明に、生徒たちは時折質問をしながら、熱心にメモを取っていました。終了後、生徒は「ニュースの見方が変わった。いろいろな人の協力があって一つのニュースが生まれているとわかった」と話していました。取材内容を記事にした壁新聞は中学の学校祭で掲出されます。

